

有限会社田村製作所

Pick Up!

平成27年度

事業計画名

測定困難な精密プレス部品の測定方法改善による精度保証と競争力の強化

概要

近年の自動車部品は高機能化により複雑な形状となっている。数十カ所の測定を求められる物もあり、月産数万個を量産するには製品の測定作業がボトルネックとなっている。測定方法を改善し、精度保証を向上させつつ、コスト競争力を強化する。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
測定計測
＜事業類型＞ 一般型

成果

自動車の高機能化により複雑な形状で数十カ所測定する自動車部品がある。今回の補助事業により導入した測定機で、測定精度を向上させつつ、測定時間を大幅に短縮したことで客先からの信頼性の向上、コスト競争力の強化を図ることができた。



厚板の打抜は10mmまで可能



新規受注に伴い多忙な日々が続く



サーボプレスロボットライン

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

有限会社田村製作所（東御市）

業界が認めた厚板の精密プレス加工技術の高さ。
試作、金型製作から量産まで一貫して取り組む。

金型技術で厚板の精密プレスを実現

田村製作所は1969（昭和44）年9月、オートバイ部品をメインとする金属プレス加工で創業。厚板の精密プレス加工、精密打ち抜きを得意とし、自動二輪、自動車、建設機械などの特に強度が求められる部品を手がけています。



打ち抜きされた厚板部品

同社の強みは金型をすべて自社製作していること。長く手がけてはいましたが、2006年に金型工場を建設して取り組みを本格化。新たな加工方法の開発を目指してトライアンドエラーを繰り返し、その成果を次の製品づくりに活かしています。

金型製作の本格化にともなってスタートしたのが厚板加工。厚物を精密に打ち抜く場合、ファインブラッキングプレスでの加工が一般的ですが、同社では高精度金型とサーボプレスを駆使し、遜色のない精度と低コストを実現しています。

田村直樹専務取締役はその取り組みを次のように話します。「金型工場の完成を受けて厚板加工



自社製造金型

の研究開発をスタートしました。ちょうど需要が高まっていたタイミングの良さもあり、他社がマネできないことに取り組もうと」

MF技術優秀賞を受賞

その高い技術力を活かして取り組んだのが、非常に複雑かつ高い精度が求められる自動車用パーキングブレーキ関連部品の量産。自動二輪車の部品で培った技術を応用し、高品質で低価格な部品を生産するため試作段階から開発に携わりました。

量産技術として同社が選択したのが、得意とする総抜き金型による精密打ち抜き加工。サーボプレスで独自の加工モーションを開発、さらに金型

を作り込み、平滑で鏡面のようなせん断面を実現しました。この画期的

な量産技術で同社は「MF技術大賞2014-2015」（日本鍛圧機械工業会主催）で技術優秀賞を受賞。全国にそのプレス技術の高さをアピールしました。

実はこの量産体制の実現に欠かせなかったのが、平成27年度ものづくり補助金で導入した画像測定器。部品1個につき30カ所も測定しなければならず、既存の三次元測定機では非常に時間がかかり管理も難しいため、測定方法が一番のネックになっていたのです。

「ちょうど良いタイミングでものづくり補助金を活用することができました。画像測定器は数秒で測定が完了し、合否判定、帳票類の作成も自動



MF技術優秀賞

に行うため経費削減にもつながりました。さらに受賞により工程能力の高さが顧客に評価され、新たな仕事の引き合いも来ています。画像測定器がお金を生んでいるんです」

建設機械部品の受注が増えている同社では、大型化への対応など、さらなる生産体制の充実を目指しています。



画像測定器



有限会社田村製作所

代表 代表取締役 田村光雄
創業 1969（昭和44）年9月
資本金 500万円 従業員数 9名
本社 東御市鞍掛508-16
TEL.&FAX.0268-62-1011
事業内容 厚板精密プレス加工、サーボプレス精密打ち抜き



専務取締役
田村直樹